

一般会計予算は106億7,500万円 特養老人ホーム事業に着手 まちづくりの支援体制を強化

平成七年度の一般会計当初予算と特別会計、企業会計の予算が決まりました。一般会計予算は百六億七千五百万円。前年度と比べて二・五パーセントの増加となりました。

今年度の主な事業として、特別養護老人ホームや庄瀬小学校の建設事業などが始められるほか、六年度から市民参加により進めている第四次総合計画の作成、各種まちづくり活動の支援にも力を入れます。



予算の規模

前年度に引き続き 緊縮型の予算編成

平成七年度の一般会計当初予算は、百六億七千五百万円。前年度に比べて二億五千七百万円の増加。二・五パーセントの伸びです。

近年の当初予算の伸びを見ると(グラフ)、当初予算が前年度を下回った六年度を別にして、今年度の伸びはここ数年では最低。前年度に引き続き、緊縮型の予算となっています。

景気の低迷が続く中、予算編成に当たっては、国はもちろん各自治体でも苦慮しているところ。白根市においては白根総合公園、北中学校、白根保育園、白井保育園、白井小学校、大風と歴史の館など、近年、大規模な建設事業に取り組んできました。これらに加えて、老朽化した石綿管入れ替え事業も行われており、平成六年度末の市債(借入金)残高は百億円に達しようとしています。今年度は厳しい状況の中での予算編成となりました。

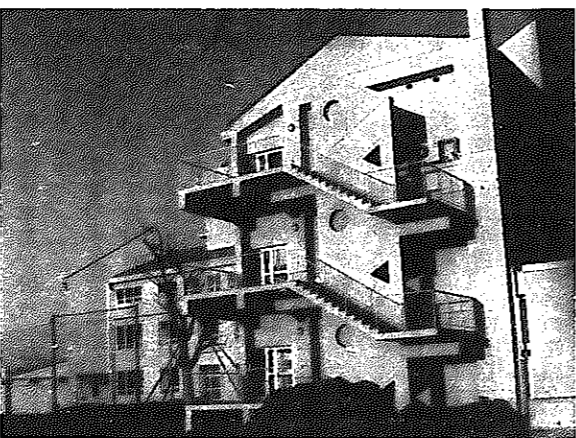
歳入予算

市税の伸び 11・1%を見込む

市税については三十九億四千六百万円を計上しました。前年度と比べて三億九千九百万円、一・一パーセントの増加となっています。

市税のうち、市民税は前年度比で二億四千四百万円、一八・九パーセントの増加を見込みました。個人市民税の譲渡所得などによる増収が一億三千五百万円程度、法

今年春に開校の白井小学校



人市民税の増収が一億円程度となっています。固定資産税では、家屋などの増加を考え、一億四千六百万円の増収を見込みました。

個人市民税では、税率区分の見直しによる制度減税が一億三千万円程度、特別減税が一億五千万円程度、合わせて二億三千五百万円程度の減収が予想されますが、この分についてはすべて減税補てん債で補われます。

市債は、その減税補てん債や一般公共事業債などが計上されて十億九千九百六十万円。前年度と比べると、大風と歴史の館建設事業債がなくなったことにより、一四・六パーセントの減少となりました。けれどもこうして毎年積み重ねられた市債残高は、今年度末には百六億円に上る見込み。白根市は一般会計予算とほぼ同額の借金を抱えることとなります。

国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計予算は、前年度と比べて一億七千五百四十五万円、八・〇パーセント増の二十三億七千六百二十三万円です。

歳出において大きなウエートを占める医療費については、保険給付費が前年度決算見込みから一〇・九パーセントの増加となっています。医療費の適正化と保険料収納率の向上を主体に健全財政を推進していきます。

また被保険者の健康づくりのために、人間ドック助成事業や健康づくり推進運動などについても、引き続き取り組んでいきます。

老人保健特別会計

老人保健特別会計予算は、前年度と比べて二億八千四百八十七万円、一・〇パーセント増の二十八億七千八百七十六万円です。

高齢者人口の増加に伴い、医療費の増大が見込まれています。このことから、医療費の給付だけでなく、疾病防止や健康管理対策にも重点をおいて各種保健事業を進め、老人保健制度の長期安定を図ります。